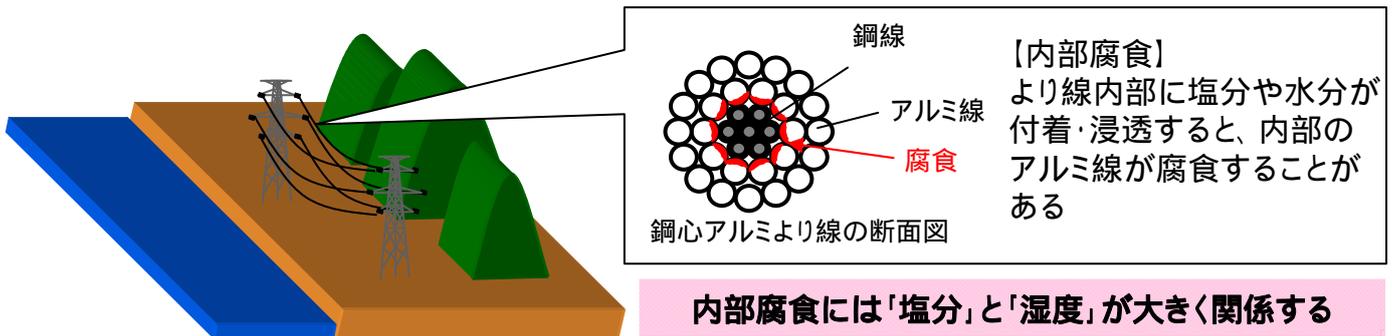


環境条件による架空送電線の改修時期推定手法の概要

【腐食のメカニズム】

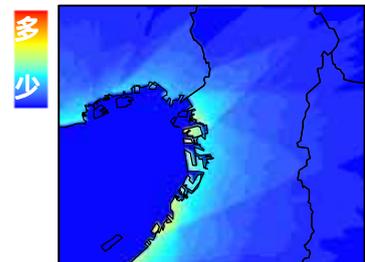


【改修時期推定手法の概要】

< 各地点の環境条件を算出 >

[塩分データの作成]

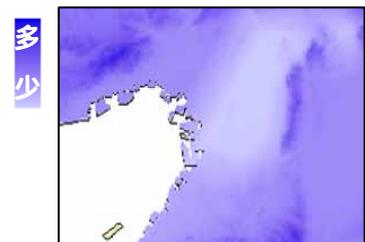
- ・海塩粒子が沖合いで発生し、風によって飛散すると仮定
- ・風速、風向、地形を考慮して、各地点に飛来する塩分量を算出



< 塩分データ >

[湿度データの作成]

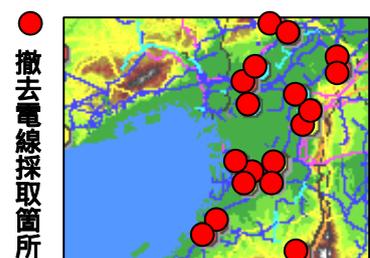
- ・鉄塔に設置した観測装置(48箇所)で温度、湿度を観測
- ・気象官署の観測データや、各地域の標高も考慮し、湿度80%以上の状態が継続する時間を算出



< 湿度データ >

< 撤去電線データから各地点の腐食速度を算出 >

- ・撤去電線(70箇所)の腐食劣化状況を調査し、経年データを用いて各地点の腐食速度を算出

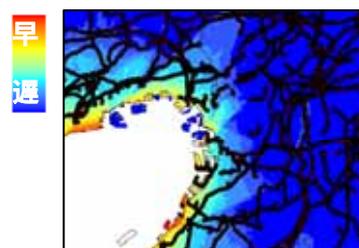


< 撤去電線データ >

< 架空送電線改修時期推定手法の開発 >

- ・各地点の環境条件(塩分・湿度)と撤去電線データ(腐食速度)との関係进行分析

環境条件から架空送電線の劣化状況と改修時期を推定する手法を開発



< 腐食速度 >